



Japan ISTANBUL
WEEK 2019
WINTER



「イスタンブール・ジャパン・ウィーク2019」オープニング ドキュメンタリー「Vatana Giderken Heimei Maru」 上映会の開催(報告)

【日時】2019年12月12日(木)

【場所】イスタンブール市テクフェンタワー講堂

【主催】在イスタンブール日本国総領事館、テクフェン・ホールディング



12月12日、テクフェンタワーにおいて、「イスタンブール・ジャパン・ウィーク2019」のオープニング式典として、ハイリイェ・サバシュチュオール監督のドキュメンタリー「Vatana Giderken Heimei Maru(仮訳「母国トルコへ帰るとき-平明丸」)」の上映会を行いました。



第一次世界大戦後にシベリアでロシアの収容所に抑留されていたトルコ人捕虜など約1,000人が、1921年に日本の船「平明丸」によりウラジオストクから「母国(トルコ)」に帰還するまで、日本士官の貢献も含めた新たに発見された史実について描かれています。この作品は、本年TRTドキュメンタリー作品部門に取り上げられ、本年11月に日本で開催した日本経済団体連合会主催「日本トルコ合同経済委員会」でも上映されました。

上映会の開始前には、西牧総領事から、この作品への協力を行ったアンカラ大学メルトハン・テュンダル教授の貢献にも言及しつつ、説明が行われました。さらにサバシュチュオール監督から作品に込めた思いをお話いただきました。





Japan ISTANBUL WEEK 2019 WINTER



サバシチュオール監督のトーク



満員となった会場